

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和2年度技術情報第4号（サツマイモの基腐病）について（送付）

サツマイモ基腐病が育苗ほ場及び本ぼで認められていますので、早期発見、早期防除に努めて下さい。

なお、本情報は病害虫防除所ホームページ（www.jpnp.ne.jp/kagoshima）にも掲載しています。



- 1 農作物名 サツマイモ
- 2 病害虫名 サツマイモ基腐病 *Plenodomus destruens* Harter

3 発生状況

- (1) 発生地域 県本土、熊毛地域

4 情報の内容

県内の育苗ほ場及び本ぼにおいて、サツマイモ基腐病の発生が認められる。今後は本ぼでの被害の拡大が懸念されるため、早期発見に努め、適切な防除対策を講ずる。

5 情報の根拠

- (1) 県内各地の97育苗ほ場で生育調査を行い、16ほ場でサツマイモ基腐病を確認した。
- (2) 現地サツマイモ育苗ほ場の種イモ及び苗を病害診断した結果、23件の依頼うち8件から本菌が検出された（診断機関：農業開発総合センター生産環境部）。
- (3) 本ぼでのサツマイモ基腐病の発生は、5月13日に鹿屋市、5月14日に屋久島町でそれぞれ1ほ場ずつ認められた。

6 防除上注意すべき事項

<本ぼ>

- (1) 発病株は大量の胞子を形成し、周辺の株へ伝染するため、早急に抜き取り、ほ場外へ必ず持ち出す。発病株は、茎葉が地上部を覆う時期までが見つけやすい（図1）。
- (2) 発病株を除去した後に、薬剤を複数回散布すると周辺株への感染拡大を抑制できる。現在、防除薬剤として、Zボルドーとジーファイン水和剤が利用可能であるが、両剤とも発病した株への効果は無いため、発生初期からの防除に努める。
- (3) 本病は、水が停滞しやすい場所での発病が多いため、ほ場の排水性を確保する。



葉の変色としおれ



枯死前の株



発病株の地際の黒褐変



健全株に埋まった発病株

図1 本ぼの生育初期における発病株の状況

<育苗ほ場>

- (4) 育苗期に発病した株では、萎縮、葉の変色及びしおれなどが見られるため、症状を確認したら直ちに種イモごと抜き取り、ほ場外への持ち出し処分を行う。
- (5) 苗消毒（ベンレート水和剤）は必ず採苗当日に行い、消毒液は使用当日に調整したものを使用する。

<サツマイモ基腐病の生態と防除>

- (6) 鹿児島県 (https://www.pref.kagoshima.jp/ag05/sangyo-rodo/nogyo/gizyutu/taisaku/documents/70898_20200316103628-1.pdf) , 農研機構 (http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/files/Stem_blight_and_storage_tuber_rot_of_sweetpotato2.pdf) を参照する。



(鹿児島県)



(農研機構)